

11月の定例会は毎年干支づくりです。来年は鼠年、こんな可愛いネズミの見本で講義がはじまりました。



ここ数年落花生を芯にして綿で包んで仕上げています。



この綿の塊をネズミの形の特徴をとらえながら綿をつまんだりひっぱたりして整えます

まず落花生にボンドをつけて綿で包みます。



手でもむようにして綿を落花生になじませます。そして頭の部分の綿をボンドで固めながら形を整えます。



背中部分の綿を後ろのほうに引っ張っていき尻尾を作ります



それを細く整えていくと尻尾になります。



そろそろみなさん作業にかかっています。



形になってきましたよ。



おしりのふっくら具合がネズミらしくなってきました。



あちこちで教えてもらいながら感想言いながら工夫しています。



ほらこんなふっくらした裕福そうなネズミも



目を入れたり耳をつけたりするとさらに可愛くなってきました。





稲穂も置くとさらにほほえましい姿になりました。



これは何を作っていると思います？



こんな可愛いネズミを作ってきたメンバーもいました。その方が俵のオーダーを作成しています。



右のネズミは親指の先ほどです。
俵を作ってその上の置けばということで俵をつくるそうです。
どうなったでしょうね。みたいです。

他にこんなふっくらした可愛いネズミも



ススキのネズミもあっという間に作られていました。



こんな可愛いネズミの集団を作って来られた人もいました。
他のサークル員も参考にと写真を撮られていました。



そろそろ色んなネズミが出来上がってきました。



表情が色々ありますね。

綿を沢山持って来られた方がいて綿の実の整理もしました。



右端の綿の実をほぐしたら左端の種と真ん中のフワフワの綿になります。



他にも左の百日紅の実やクヌギの殻斗など、沢山材料を持ってきたくれたサークル員がいました。



他にも左のような作品と材料を持ってきたくださったサークル員の方がいたので飛鳥歴史公園館に飾りました。持ってきてくださった材料は 11 月 24 日キトラ古墳で実施のまるっと飛鳥体験で右のような見本で、遊びに来てくださった方に遊んでいただきます。他に干支のネズミも作っていただきます。



今日は28日に遊びにくる明日香小学校2年生のこども達に、お土産で渡す作品が少し集まりました。まだ他にもできてきます。楽しみです。

